

## 日本心理劇学会 第30回大会

### 共立女子大学

2025年1月11日(土)・12日(日)

### 大会テーマ「心理劇の成熟と新しい展望」

#### 【ご挨拶】

日本心理劇学会の大会は、本年度で第30回を迎えます。大会長として、その記念すべき大会を開催することとなり、責任の重さを痛感する一方で、自発性・創造性のスイッチが全開になったようなワクワク感を味わっております。本年度4月発刊のニューズレターに記しましたように、節目の大会では、本学会の誕生・発展・成熟の過程を客観的に見直し共有するとともに、その成果を共感的に分ち合いたいと思っております。さらに、近い将来と遠い未来に目を向け、本学会の組織としての発展可能性、心理劇の学術的な進歩、心理劇を用いた社会貢献の推進、などを展望したいと考えております。

ところで、12月の開催が通例の大会を、1月に開催することとなった背景には、大会テーマに重なる隠れたテーマを「舞台」としていることがあげられます。心理劇において舞台は、主役をはじめとする参加者が、喜怒哀楽の感情を解放する場として捉えられています。本学の古びた講堂は、現在では部外者には貸し出されておりませんが、昭和の頃には、音楽コンサートの聖地として広く知られておりました。歴史的に意義のある舞台で、「全員参加型」のシンポジウム・心理劇を行いたい、という思いにつき動かされた私は、講堂使用について本学事務局に何度も相談いたしました。学内行事を優先して予約が行われるため、予約は難しいかとあきらめておりましたが、あるとき急に「1. 12.」があくという幸運に恵まれました。

かつて数々のスーパー・スターが、音楽の力で、観客をサープラス・リアリティの世界にいざなった舞台には、何か不思議な力が潜んでいるかもしれません。けれども、古びた舞台を錬金術的な出会いの場に変容させるためには、会員の皆さまの助けが必要です。お一人おひとりが主役になったつもりで、心理劇や心理劇を対象とした学会の在り方について、見つめてゆきませんか。

さらに、楽しい祝祭の機会とする意味では、新型コロナウイルス感染症の流行によって、ここ数年の年次大会では行うことのできなかつた、懇親会の開催を予定しております。

それに加えて本大会では、はじめて「表彰制度」が適用されます。2日目の最後に表彰式を設けますので、フィナーレを華やかに飾る意味で、たくさんの会員の方々の「継続発表賞」「オンリーワン賞」のご申請をよろしくお願いいたします。なお、オンリーワン賞は、口頭発表・ワークショップ発表を行った方のうち、希望する方に授与されますので、とりわけ若手の会員の皆さまの積極的なご発表をお願いできると有難いです。

ご参加を心からお待ちしております！

日本心理劇学会第30回大会 大会長  
安藤嘉奈子



### 3 WEB サイトについて

- 最新の情報は、日本心理劇学会第30回大会のWEB サイトに示されます。
- 以下に大会 WEB サイトの URL と QR コードを示します。インターネットの検索エンジンに URL を入力する方法、またはスマートフォンで QR コードを読み取る方法を用いて、アクセスしてください。

<https://shinrigeki30.com/>



### 4 プログラムの概要

- 第1号通信ではプログラムの概略を示します。講師・講演者などの敬称は省略させていただきます。

**1日目（2025年1月11日）**

- 1) 開会式（12：00～12：10）
- 2) 学会企画ワークショップ（12：20～14：20）
  - A ワークショップⅠ  
講師  
佐藤豊（防衛医科大学校）
  - B ワークショップⅡ  
講師  
日本心理劇学会・生徒指導提要ワーキングチーム（時田学〔日本大学〕・高橋秀和〔アウェアネス & グロースアプローチ研究所〕・義永睦子〔武蔵野大学〕・安藤嘉奈子〔共立女子大学〕・岩城衆子〔文京区児童相談所開設準備室〕
  - C ワークショップⅢ  
講師  
土屋明美（日本心理劇協会）・宮川萬寿美（日本心理劇協会）・中村忍（日本心理劇協会）
- 3) 口頭発表（14：30～15：50）
- 4) ワークショップ発表（16：00～18：20）
- 5) 懇親会（18：50～19：50）  
司会者  
牧裕夫（作新学院大学）・櫻井靖史（東京サイコドラマ協会）

## 2日目(2025年1月12日)

### 1) 大会長講演 (10:00~11:00)

講演者

安藤嘉奈子(共立女子)

演題

「心理劇の深化と新化、そして真価」

### 2) 総会 (11:15~12:15)

### 3) 特別講演 (13:00~14:00)

講演者

平田オリザ(劇作家・演出家、芸術文化観光専門職大学学長)

演題

「わかりあえないことから」

### 4) シンポジウム (14:10~16:30)

第I部 シンポジウム

演題

「心理劇の成熟と新しい展望」

登壇者

藤堂宗継(雄心会 山崎病院)・大島朗生(東京福祉大学)・岡嶋一郎(西九州大学)・

横山太範(さっぽろ駅前クリニック)

※登壇順

司会者

安藤嘉奈子(共立女子大学)・岩城衆子(文京区児童相談所開設準備室)

第II部 心理劇

演題「みんな、舞台のうえで語ろう」

### 5) 表彰式・閉会式 (16:40~17:10)

プレゼンター

川幡政道(横浜市立大学)・吉川晴美(東京家政学院大学)

## 5 演題発表の募集について

### 1) 発表形式・募集期間・申し込みの手続き

○口頭発表の発表時間は1組あたり20分(発表時間15分、質疑応答5分程度)です。

○ワークショップ発表の発表時間は1組あたり140分(発表時間120分、質疑応答20分)です。

○以下の期間内に、大会WEBサイトより申し込みの手続きをお願いいたします。

2024年6月18日(火)~2024年8月17日(土)

○発表要領は、「日本心理劇学会第30回大会発表要領(2024.6.4.ver.)」をご参照ください。

第1号通信の冊子の最後に添付されています。

## 6 参加申込みについて（大会・懇親会）

- 事前申し込みと当日参加では、大会参加費・懇親会費の金額が異なります。
- 非会員・学生は当日参加の形で、1日のみ参加することも可能です。

### 1) 大会参加費

- <会員・準会員> ◇事前申し込み：7,000円 ◇当日参加：8,000円
- <非会員> ◇事前申し込み：8,000円 ◇当日参加（2日間）：9,000円  
◇当日参加（1日のみ）：5,000円
- <学生（学部・修士）> ◇事前申し込み：5,000円 ◇当日参加（2日間）：6,000円  
◇当日参加（1日のみ）：3,000円

### 2) 懇親会参加費

- <会員・準会員> ◇事前申し込み：4,000円 ◇当日参加：5,000円
- <非会員> ◇事前申し込み：5,000円 ◇当日参加：6,000円
- <学生（学部・修士）> ◇事前申し込み：2,000円 ◇当日参加：3,000円

### 3) 留意事項

- 事前申し込みのお手続きについては、以下の期間内に、大会のWEBサイトよりお願いいたします。

2024年10月1日（火）～11月27日（水）

- 大会参加費・懇親会費の入金は、参加申し込みを行ってから1週間以内をお願いいたします。
- 一度お支払いいただいた大会参加費・懇親参加費は、予期せぬ事情で第30回大会が中止となった場合を除いて返金できませんので、ご了解ください。
- 釣り銭の準備は十分ではありません。当日参加の場合には、お釣りがいらぬようにご協力ください。

## 7 2号通信・3号通信・抄録の送付方法

- 第2号通信・第3号通信は、郵送ではなくメールで配信をいたします。本大会のWEBサイトにも公開いたします。第1号通信もすでにWEBサイトに公開しています。
- メールで第2号・第3号の通信を受信するためには、「日本心理劇学会メールアドレス・生年月日収集用フォーム」に、ご自身のメールアドレスと生年月日をご記入いただく必要があります。以下に、収集用フォームのURLとQRコードを示します。

<https://psy2023mail.blogspot.com/>



- まだ未登録の方は、このフォームにアクセスし、登録をお願いいたします。たいへん恐縮ですが、第30回大会の運営委員は正規の仕事に携わっており、多忙ななかで時間をさいて、大会の準備に励んでおります。運営業務の軽減のために伏してご協力をお願いいたします。
- 第2号通信は9月中旬に、第3号通信は12月上旬に送信する予定ですが、遅れる可能性もあることをあらかじめご了解ください。
- 抄録は郵送いたします（12月下旬発送予定）。

## 8 継続発表賞について

- 継続発表賞は、本学会の大会で口頭発表・ワークショップ発表・学会企画の発表を2回以上行い、所定の手続きを経て、常任理事会で承認された方に授与されます。
- 第30回大会で継続発表賞の表彰を受けるための申請の締め切りは、2024年7月31日（水）です。表彰を希望する方は、「日本心理劇学会年次大会継続発表賞 自己申告フォーム」にアクセスし、申請をお願いいたします。

<https://sgfm.jp/f/keizoku>



## 9 留意事項

- プログラムは、今後の調整により内容が変更される可能性があります。
- 2025年1月13日（月）の本学会研修委員会主催の研修については、決定次第、本学会のWEBサイトに掲載されます。お問い合わせは研修委員会にメールでお願いいたします。  
研修委員会 E-mail [sinrigeki.kensyuu@gmail.com](mailto:sinrigeki.kensyuu@gmail.com)
- 第30回大会の期間中、会場では参加章を必ずご着用ください。
- 参加者の肖像権や発表に関する著作権に配慮し、第30回大会事務局の許可なく、参加者が他者や他者の発表・講演などの撮影・録音・録画などを行うことを禁止しますので、ご留意ください。
- 大会事務局が記録の目的で、会場内における写真撮影やビデオ録画などを行うことがありますので、ご了解ください。
- 会場内は全面禁煙です。
- 会場内では原則として喫食禁止ですが、2日目（日曜日）には、喫食スペースを設ける予定です。
- 宿泊・食事などはご自身でご手配ください。
- 神保町界隈の飲食店は、土曜日は観光客で混雑します。また、日曜日を定休日としている店も多いため、ご留意ください。
- 会場内に会員の皆さまが自由に使用できるコピー機はありません。大会事務局が、コピーを代行することもできませんので、ご注意いただければ幸いです。
- 感染症の拡大・災害などの影響により、開催方法やプログラム内容に変更が生じる可能性があります。
- 第1号通信の入った封筒には、大会のポスター・チラシも同封されています。会員の皆さまには広報をどうかよろしくお願いいたします。

○すでにメールをご登録いただいている方には、第1号通信を送信しております。もし届いていないようでしたら、大会事務局までメールでご連絡をお願いいたします。

## 10 問い合わせ先

○大会に関するお問い合わせは、メールにてお願いいたします。

○お問い合わせのメールには、すぐに返信できないこともありますので、あらかじめご了解ください。

### <連絡先>

日本心理劇学会第30回大会事務局  
共立女子大学 家政学部 教職課程研究室 C 気付  
事務局 e-mail jpa30geki@gmail.com

## 日本心理劇学会第30回大会発表要領 (2024. 6. 4. ver.)

### 1 発表の内容について

- 本大会では、口頭発表・ワークショップ発表を行います。
- 口頭発表の発表時間は1組あたり20分（発表時間15分、質疑応答5分程度）です。
- ワークショップ発表の発表時間は1組あたり140分（発表時間120分、質疑応答20分）です。

### 2 発表の申し込み方法について

- 申し込み手続きを行えるのは、責任発表者のみです。
- 以下の期間内に、大会のWEBサイトの「発表申し込みフォーム」より、申し込みをお願いいたします。

2024年6月18日（火）～2024年8月17日（土）

- 発表申し込みフォームの示されたWEBページのURLとQRコードを示します。インターネットの検索エンジンにURLを入力する方法、またはスマートフォンでQRコードを読み取る方法を用いて、このページにアクセスしてください。

<https://shinrigeki30.com/application/>



### 3 発表の資格について

- 本学会の会員は、責任発表者または連名発表者として、口頭発表・ワークショップ発表のいずれか、または両方を行うことが可能です。
- 本学会の会員以外で発表を希望する方は、会員になっていただく必要があります。以下に、本学会の入会の手続きが掲載されたWEBページのURLとQRコードを示します。このページにアクセスして、手続きについてご確認ください。

<https://psychodrama.jp/nyukai/>





- 発表を行ううえでは、研究内容や発表方法について、学術的・倫理的に問題がないことが前提となります。発表申し込み時に、400字程度の要旨を提出していただき、これについて倫理的妥当性などを中心に、本学会の過去の大会でも行われてきたような基本的な審査を行わせていただきます。審査結果は、お申し込み後1か月以内に、メールでお知らせする予定です。
- 発表申し込み時にご提出いただいた要旨は第2号通信に掲載します。

#### 4 抄録について

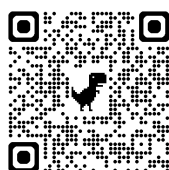
- 抄録の執筆要領については、メールにて発表者に個別に連絡いたします。
- 抄録の著者校正は1回のみです。必ず期限内にご確認ください。

#### 5 発表方法について

##### 1) 利益相反の開示について

- a. 日本心理劇学会では本年度の大会より、口頭発表・ワークショップ発表の発表者に利益相反 (conflict of Interest: COI) の開示を求めることとなりました。以下に、本学会の「利益相反 (COI) に関する規則」が掲載されたWEBページのURLとQRコードを示します。このページにアクセスして、上記の規則をご確認ください。特に第4条が参考になります。

<https://psychodrama.jp/wp-content/uploads/2024/05/COIrules.pdf>



- b. 上記の規則の第4条に示された利益相反の例を二つほど示します。
- ①企業・組織・団体の役員・顧問職・社員などで一つの企業からの報酬額が年間100万円以上の受領がある場合
  - ②企業・営利目的の団体よりパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料について、年間100万円以上の受領がある場合
- c. 発表について、企業などとの共同研究・共同開発の実施、企業などからの助成、その他開示すべき利害関係がある場合は、発表時に詳細をスライドなどにて開示してください。特に利害関係がない場合にも説明が必要になりますので、図1を参考にしてスライドなどをご準備ください。

日本心理劇学会 利益相反 (COI) 開示 発表者 心理劇花子 演題発表に関連し、 開示すべきCOI関係にある 企業などはありません。
--

図1 スライドなどの例

## 2) 留意事項

- 発表の際には、座長の指示に従ってください。
- 口頭発表・ワークショップ発表では、個人や所属機関などの宣伝を行ったり、人権を侵害するような表現を用いたりすることは避けてください。個人情報の保護についても留意してください。

## 6 オンリーワン賞について

- オンリーワン賞は、本学会の大会において研究発表・ワークショップ発表を行う方のうち、表彰を希望する方に授与されます。
- 口頭発表の場合は、座長が、①社会的意義、②新規性・アイディア、③論理の一貫性、の三つの視点から発表を評価し、最も優れているところを顕彰します。また、論文化が可能かどうかについても評価して顕彰します。ただし、この顕彰は本学会の学会誌への掲載を保障するものではありません。
- ワークショップ発表の場合は、座長が、①研究への情熱的な姿勢、②楽しく親しみやすい視点からの展開、③芸術的又は治療的な視点、からの実施の三つの視点から発表を評価し、最も優れているところを顕彰します。また、論文化が可能かどうかについても評価して顕彰します。ただし、この顕彰は本学会の学会誌への掲載を保障するものではありません。
- 「日本心理劇学会 年次大会オンリーワン賞について」が掲載されたWEBページのURLとQRコードを示します。このページにアクセスして、賞の内容についてご確認ください。

<https://psychodrama.jp/wp-content/uploads/2024/05/Award-Regulations.pdf>



- 演題発表に関して、オンリーワン賞にエントリーするかどうかは、発表の申し込み時におうかがいたします。

以 上